

始業式 式辞

おはようございます。元号を改める政令が公布され、新元号が【令和】となり、5月1日より施行されます。新しい時代が始まりました。新しい時代の潮流にのり、本校も本日は始まりの日、決意の日です。皆さん、より具体的な「志を立ててください」。志を立つとは目標を達成しようと心を奮い立たせる、自分を攻め、自分に勝つということです。さて、ここ数年お正月のTVをにぎわしている箱根駅伝の監督さんは約15年前に監督に就任するにあたって、大学側に自分の考えをこのように伝えたそうです。3～5年で箱根駅伝出場、5～9年で箱根駅伝に出場する権利が得られるシード校に入り、10年目で優勝すると、有言実行でした。目標達成のため取り組んだ事は様々ありますが、その一つを紹介します。まずは部員全員に1年間の目標をはっきりさせるために目標管理シートを導入したそうです。内容は1週間・1ヶ月・3ヶ月の目標を作成させ、試合が終わる度に部員同士で結果を持ち寄り、達成できた原因や達成できなかった原因の探究を話し合いをさせたようです。結果、学生達は小さな成功体験を積み上げ達成感を獲得するばかりか、仲間意識とともに向上心が育まれ今があるようです。4連覇しました。超一流の指導者です。また5連覇がかかった2019年は2位でした。その際のコメントも私の記憶に残っています。「私自信チャレンジする意識が下がっていた。進化をとめた時点で退化になることを痛感した」

また、近々にこのような新聞記事がありました。「ここは永遠に完成しない場所。この世界に創造力がある限り、成長し続ける」と、学び続け、チャレンジし続けるということです。さすが超一流のリゾートです。何をみなさんに伝えたいかと言いますと、絶えず学び、何事も、しっかり分析して計画的にチャレンジしてもらいたいと言うこと、同時に、学ぶこととチャレンジ精神がうせれば退化すると言うことです。繰り返します。みなさん、自己実現に向け、学ぶことを忘れず、柔軟性と創造力をもって計画的にチャレンジしてください。

終りになりますが私の志は【21世紀を力強く生き抜く強くて思いやりのあるみなさんを育てあげることです】互いの志が叶うこと願い、新年度始まりの式辞とします。

りんくう翔南高等学校長 藤 田 繁 也